

公共枿設置業務仕様

1 実施方法

- (1) 実施にあたっては別紙「実施手順書」を遵守すること。
- (2) 原則として、放流予定日までに業務を完了すること。
- (3) 受託者は業務施行日について、事前に委託者へ報告すること。

2 作業の完了

作業を終了し、所定の書類が提出された後、工事監理コンサルタントによる完了検査を経て、施設管理課長の確認をもって完了とする。確認に必要な資料については、委託者の指示に従い提出すること。

3 その他

- (1) 作業箇所において、下水道施設に破損、不等沈下等の異状を発見した場合は、すみやかに委託者に報告すること。
- (2) その他定めのない事項については、すみやかに委託者に報告し、指示を受けて処理すること。
- (3) 作業完了後3週間以内に業務完了報告書の提出を行うこと。

実 施 手 順 書

1. 着手前及び現地手順

- 1) 受託者は、工事指示書等の関係書類を受領後、速やかに「地下埋設物」を確認し、汚水枿設置設計・施工管理コンサルタント（以下「コンサルタント」という。）と情報を共有する。その後、施工図面を作成し、それをもとに、単価算出表で請負金額を決定し、図面と工事指示内容確認報告書、単価算出表及び道路占用写真についてコンサルタントを經由して委託者に提出する。
- 2) 受託者は、工事着手にあたって必要な道路使用許可等の申請、周辺住民への周知等を行う。また、申請箇所により河川、道路占用等の許可を要する場合には、許可申請から管理者の許可が下りるまでに相当の日数を要することを留意し、着手については委託者の指示を待つこと。なお、業務の内容等に疑義がある場合には、必要に応じ委託者を含めて協議する。
- 3) 受託者は、工事着手後、工事の内容に変更が生じた場合は、工事内容変更報告書、変更理由報告書、変更図面及び変更内容を示す写真を単価算出表と共にコンサルタントを經由して提出し、委託者の工事変更指示を得ること。

2. 品質管理、出来形管理等

- 1) 受託者は、工事完成後出来形を測定し、設計図面に実測値を朱書きし提出する。
- 2) 受託者は、次の写真を提出すること

- ①指示現場ごとに同一方向から撮影した着手前と完成後が確認できるもの。
- ②工事の施工内容や途中経過が確認できるもの。
- ③黒板には作業件名、撮影場所、撮影対象、撮影日、及び受託者名を、明記して撮影する。

3. 確認及び検査

- 1) 受託者は、公共柵を設置後、公共柵設置完了届をコンサルタントに提出し、コンサルタントによる現地の確認、検査を受ける。

4. 完成報告

- 1) 受託者は舗装復旧を含むすべての作業が完了した時は、作業完了日から21日以内に次の書類についてコンサルタントを経由し提出すること。
 - ① 業務完了報告書及び完了検査調書の写し
 - ② 出来形図面等 2部
 - ③ 作業記録写真
 - ④ 請求書及び明細（単価算出表の写し）
- 2) 前記各項のほか、委託者が必要と認め提出をするように指示した書類は、指定期日までに提出すること。